

記 述

總 數	有 資 格 教 員														無 資 格 教 員									
	學位ヲ有スル者		大學卒業ト稱スル者		文部大臣ノ指定タル者		文部大臣ノ許可タル者		高等學校高等科教員ヲ有スル者		師範學校專攻科教員ヲ有スル者		師範學校高等科教員ヲ有スル者		實業學校教員ヲ有スル者		公立學校教員ニ依テ資格規定スル者		私立學校教員ニ依テ資格規定スル者		其ノ他			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
三重縣立多氣實業學校	× 1	8	2																			× 1	2	
田丸實業女學校	× 1	4	4				3		1	2													× 1	1
志摩水産學校	× 4	16					4								7								× 4	
四日市商業學校		32					2		9						18									5
松阪商業學校		23					2								21									2
宇治山田商業學校		20					5		9		4			2										
津市勵精商業學校		18					1		7		2				5									2
大湊町立工業學校	× 2	7							1														× 2	6
白子町立工業學校	× 5	3																					× 5	3
三重縣上野商業學校		13													5									5
四日市市立商工學校	× 5	32					× 1		× 1						× 2								× 1	9
龜山實業學校		9							1						3									3
共立實業學校		6													3									3

×印ハ兼務者ナリ

3. 教員ノ需給供給、勤續轉免、俸給加俸、其ノ他待遇上ニ關スル狀況
年度内相當ノ異動アリタルモ需給關係圓滑ニ行ハレ教授上支障ナク勤續者モ各校相當アリ待遇ニ關シテモ出來得ル限り優遇ヲ講ズ
4. 生徒訓育ノ狀況
常ニ聖旨ヲ奉體シ盡忠報國、質實剛健ノ氣風ヲ涵養シ人格アル技術者ノ養成ヲナシツ、アリ
5. 生徒學業進否ノ狀況
實力ノ養成ニ努メ自學、自習ヲ獎勵シ學力ノ進歩見ルベキモノアリ
6. 生徒教練ノ狀況
生徒教練ノ目的、精神ヲ理解シ眞摯、熱心、且積極的ニ教練ニ精進スルヲ以テ査閲ノ結果ニ徴スルモ其ノ成績良好ナリ
7. 生徒修學旅行ニ關スル狀況

學 校 名	學 年	旅 行 地	日 數
三重縣立工業學校	第 五 學 年	名古屋、東京、日光方面	7
	第 四 學 年	大阪、神戸、京都方面	4
津市立工業學業	第 三 學 年	奈良、大阪方面	7
三重縣立農林學校	第 三 學 年	東京、日光方面	7
名賀農學校	第 二 學 年	愛知、東京、神奈川、静岡方面	7
河原田農學校	第 二 學 年	大和地方	3
一志實業女學校	第 二 學 年	鎌倉、東京、日光、長野地方	5
田丸實業女學校	第 二 學 年	名古屋、鎌倉、横濱、東京、日光、長野方面	5
志摩水産學校	第 四 學 年	東京、静岡、神奈川方面	8
	第 五 學 年	大阪、京都、神戸方面	5
津市立勵精商業學校	第 三 學 年	東京及三陸方面	11
四日市市立商工學校	第 三 學 年	名古屋、長野、日光、東京、箱根方面	6
龜山實業學校	第 二 學 年	東京、横須賀、江ノ島、鎌倉、諏訪方面	5
	第 三 學 年	奈良縣	3

記 述

8. 入學志願者ニ關スル狀況
各校共入學志願者ハ増加ノ傾向ニアリ
9. 卒業者就職ノ狀況
事變ノ影響ニ伴ヒ工業方面ノ學校ハ採用申込多ク希望ニ應ジ難キ程ナリ其ノ他ノ學校ニアリテモ家事ニ従事スル者ヲ除キ就職希望者ハ何レモ就職セリ
10. 生徒ノ研究、實驗、實習並ニ之ニ關スル設備ノ狀況
各校共實驗、實習ニハ力ヲ入レ學校ノ設備ヲ充分利用セシメ自發的ニ研究ヲ積マシメ足ラザル處ハ各工場、會社、商店等ノ見學、實習等ニヨリ補ヒツ、アリ

8. 青年學校義務就學者

1. 就學ニ關スル規則施行事項
青年學校令、青年學校令施行規則並青年學校令及青年學校令施行規則實施ニ關スル規程ノ研究協議會ヲ開催シ市町村ニ於テハ義務就學者名簿ヲ作成スル外青年學校學務委員ヲ督勵シ一面生徒及一般父兄ニ對シ之ガ趣旨ノ普及徹底ヲ圖リ規則ノ勵行ニ努メタリ
2. 就學獎勵ニ關スル事項
就學獎勵ニ關シテハ縣市町村共萬全ノ方途ヲ講ジツ、アリト雖就中縣ニ於テハ青年學校義務就學獎勵費ヲ當該市町村ニ交付市町村又若干ノ市町村費ヲ計上シ學用品等ノ支給ヲナシ之ガ獎勵ニ遺憾ナキヲ期シタリ
3. 就學猶豫又ハ免除ニ關スル事由左ノ如シ

	就 學 猶 豫				就 學 免 除				
	總 數	病 弱	航海又ハ遠洋漁撈	其ノ他	總 數	瘋癲白痴	不具癱疾	航海又ハ遠洋漁撈	其ノ他
男	12	10	—	2	10	3	6	—	1

9. 青 年 學 校

1. 學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況
學校數ハ公立四百十四校、私立三十八校計四百五十二校ニシテ公立ハ前年ニ比シ五校減ジ私立ハ六校増加ス右公立五校減少ノ理由ハ市町村ノ合併ニ依リ廢校トナリタル學校アルニ因ル
設備ハ殆ンド小學校ノ設備ヲ利用シツ、アリト雖漸次之ガ充實ヲ圖リツ、アリ
2. 教員ノ資格別

	總 數		有 資 格 教 員														無資格教員	
			總 數		規定第一號該當者		同條第二號該當者		同 條 第 三 號 該 當 者		同條第四號該當者		同第二條該當者		同第十四條該當者			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
青年學校	× 2,205 指 1,175 △ 111 558	× 289 指 28 △ 39 323	× 2,027 指 83 △ 45 445	× 247 指 8 △ 16 270	× 27 指 7 △ 2 140	× 2 指 5 — 20	× 75 指 8 — 88	× 8 指 1 — 29	× 1,866 指 19 △ 39 184	× 229 指 3 △ 14 200	× 46 指 8 △ 3 18	× 3 指 1 — 4	× 8 指 25 △ 1 15	× 2 指 5 △ 2 16	× 5 指 19 — —	× 3 指 1 — 1	× 178 指 1,092 △ 66 113	× 42 指 20 △ 23 53

表中×印ハ兼務者、指印ハ指導員、△印ハ指導員兼務者ナリ

3. 教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況
事變影響ニ伴ヒ應召或ハ轉向セル教員尠ナカラザルモ之ガ補充ニ萬全ヲ期スル外教員講習會等ヲ開催シテ素質ノ向上ヲ圖リ一面重工業方面ヘノ轉退出ヲ防止シツ、アリ社會教育課獨立シテヨリ日尙淺キモ專心指導監督ニ努メ着々其ノ實ヲ擧ゲツ、アリ又專任教員ノ設置獎勵ニ對シテハ國縣費ヲ以テ補助スル外市町村費ヲ緩和負擔セシメテ極力之ガ優遇ヲ圖リツ、アリ
4. 指導員ニ關スル狀況
指導員モ召集解除トナリ漸次復歸シツ、アルモ未ダ缺員ノ向モアリ
5. 生徒教授訓育ノ狀況
青少年學徒ニ賜リタル勅語ノ聖旨ヲ奉體シ一意善良ナル公民ノ養成ニ邁進努力ス
6. 生徒學業進否ノ狀況
時局ヲ認識シ向學心旺盛ナリ從ツテ學業成績モ向上セルヲ認ム

記 述

7. 生徒修學旅行ニ關スル狀況
修學旅行ハ極メテ稀ニシテ教授訓練上ノ強行軍又ハ見學視察等多シ
8. 入學志願者ニ關スル狀況
義務制ノ實施ヲ理解シ一面時局ノ推移ヲ達觀シテ入學者モ自然増加シ成績良好ナリ
9. 教練查閱ノ狀況
軍事ノ意識ハ充分ナリ從ツテ之ガ查閱ノ結果ハ頗ル良好ナリ
10. 生徒ノ研究實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況
自己ノ修養向上ニ關シテハ全般ニ互リ極力奮勵努力シ一面生産確保ニ就テモ深キ理解ヲ有シ實習等ニ於テモ之ガ機能發揮ニ努メツ、アリ
11. 學校ト實業界トノ關係
各種團體及關係者トノ聯絡ヲ密ニシ實社會ニ貢獻ス

10. 青年學校教員養成所

1. 學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況
青年學校教員養成所ハ其ノ設備ハ三重高等農林學校ノモノヲ借用シ、女子青年學校教員養成所ハ女子師範學校ノ設備ヲ併用ス
2. 教員ノ資格別

	總 數	有 資 格 教 員					無 資 格 教 員	
		學位ヲ有スル者	大學卒業又ハ學士ト稱スルコトヲ得ル者	文部大臣ノ指定シタル者	師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者	實業學校教員免許狀ヲ有スル者	其ノ他	
總 數	× 41 8	—	× 9	× 7	× 20 7	1	× 5	
三重縣立青年學校教員養成所	× 27 4	—	× 9	× 7	× 8 4	—	× 3	
〃 女子青年學校教員養成所	× 14 4	—	—	—	× 12 3	1	× 2	

×印ハ兼務者ナリ

3. 教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況
教員ノ需給圓滑ニ行ハレ教授上支障ナク其ノ待遇ニ關シテハ豫算ノ範圍内ニ於テ優遇ノ途ヲ講ズ年功加俸ヲ受クル者五名ナリ
4. 生徒訓育ノ狀況
常ニ聖旨ヲ實踐躬行セシメ品性ヲ高尚ニシ教育報國ノ信念ヲ涵養スルニ努ムルト共ニ自ラ進ンテ學藝ヲ研鑽スルノ良習ヲ養ヒ以テ青年教育ニ當ルベキ教育者トシテ充分ナル資性ヲ陶冶ス
5. 生徒學業ノ進否
生徒ノ自覺ニヨリ眞摯ナル態度ニヨリ學習シ自學自習ヲナスト共ニ共同研究モ亦克ク行ヒ其ノ成績見ルベキモノアリ
6. 生徒修學旅行ノ狀況
本年度ハ行ハズ
7. 入學志願者ニ關スル狀況
本科入學志願者百十六名ニシテ七十四名減少ス
臨時養成所ハ入學志願者ハ六十一名ニシテ十八名減少ス
8. 入學者父兄ノ職業別

	總 數	農 業	水産業	鑛業	工業	商業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他ノ有業者	無 業
總 數	66	41	—	—	1	2	—	17	—	1	4
三重縣立青年學校教員養成所	44	31	—	—	—	1	—	11	—	—	1
〃 女子青年學校教員養成所	22	10	—	—	1	1	—	6	—	1	3

8. 生徒實習ノ狀況
實地研究又ハ體驗ヲ通ジ深ク學理ヲ會得セシムルト共ニ之ニ依ツテ研究的態度並綿密周到ナル資性ヲ涵養ス而シテ農場實

記 述

習ニ於テハ勤勞鍛鍊方面ニモ特ニ意ヲ用ヒテ農業者の信念ヲ確立セシムル如ク指導ス

10. 生徒ノ研究、實驗、實習並ニ之ニ關スル設備ノ狀況

生徒ノ研究ニ就テハ特ニ意ヲ用ヒ自發的研究ノ助長ニ努メシム

實驗實習ニハ特ニ重キヲ置キ縣立工業學校ニアリテハ第三學年ヨリ實驗、實習ヲ課シ生徒ノ希望ニヨリ特種ノ實習ヲナサシム

津市立工業學校ニアリテハ懸賞圖案ヲ募集シ製圖ハ自己ノ考案ニヨリテ之ヲ研究セシメ實習ハ總ベテ工程ニヨリ簡易ナル練習ヨリ漸次技術ノ進ムニ從ヒ之ガ程度ヲ高メ實習セシム、土木科、電氣科、機械科ノ實習、實驗、機械器具モ學年ニ應ジテ設備シ其ノ成績良好ナリ

他ノ二校ニ於テモ生徒ハ何レモ研究、實驗、實習ニ興味ヲ有シ熱心ニ從事シツ、アリ

11. 學校ト實業界トノ關係

化學及機械工作上ノ指導質疑應答、展覽會、講習會審査員又ハ講師トシテ教員ヲ出張セシメ實業界トノ連絡ヲ密ニシ又會社工場ヘハ毎年卒業生ヲ就職セシムル關係上連絡關係ハ密接ナル狀態ナリ

11. 盲 學 校 及 聾 啞 學 校

1. 學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況

縣立一校ニシテ昭和五年九月現校舍ヲ新築セルモ逐年此ノ種教育ノ普及ニツレ就學兒童増加ノタメ現今ニ於テハ校舍並ニ寄宿舍共ニ非常ニ狹隘ヲ來スルニ至レリ

機械校具ノ設備ハ漸次充實ヲ企圖シ中ニモ直觀、實驗實習體育設備ハ年ト共ニ其ノ充實ヲ圖リ居レリ

2. 教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸、其ノ他待遇上ニ關スル狀況

年度内教員ノ異動アリタルモ教授上支障ナク勤續者ハ二十一名中十五年以上ノ者十四名ニ及ビ教員ノ待遇ニ關シテハ相當意ヲ用ヒツ、アリ加俸支給者十一名ナリ

3. 生徒訓育ノ狀況

生徒ハ其ノ履歴年齢ニ於テ多種多様ナル上身體の缺陷ニ伴ヒ訓育上至難ナルモノ尠カラザレバ訓育ノ根本方針ヲ確立シ指導ノ具體の事項ヲ定メ之レガ實踐ニ努メツ、アリ特ニ時局ニ鑑ミ國體ノ本義ヲ明徴ニシ大ニ日本精神ノ顯現ニ努メ居レリ尙本校ハ自宅又ハ親戚ノ家ヨリ通學スルノ外ハ全部之レヲ寄宿舍ニ收容シ人格陶冶ニ努メ居レリ

4. 生徒學業ノ進否ノ狀況

個別指導ヲ重視シ且ツ遲進兒ニ對シテハ特別ノ指導ヲナシ居レル結果學業ノ進歩ハ相當見ルベキモノアリト認ム

5. 生徒ノ失官原因ニ關スル調査

盲	部					計	聾	計	啞					計						
	初等科		中等科		別科				研究科		豫科		初等部		中等部		研究科			
	男	女	男	女	男				女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女
總 數	17	15	20	8	1	1	—	1	63	總 數	17	15	43	37	13	12	1	1	139	
先天性 斜視	6	5	2	1	1	—	—	—	15	先天性 斜視	12	9	20	28	10	8	—	1	88	
膿漏眼 角膜炎	—	—	1	—	—	—	—	—	1	中膜耳 炎	2	2	9	3	1	1	—	—	18	
綠內障 白內障	—	1	5	—	—	—	—	—	6	猩胎肺 紅熱	—	—	1	—	—	—	—	—	1	
外網膜 傷	—	—	—	1	—	—	—	—	1	遺傳 梅毒	—	—	1	—	—	—	—	—	1	
牛其 ノ	10	8	4	5	—	1	—	1	29	外傷 腦傷	2	—	1	—	—	1	—	—	4	
										外不 其	1	—	—	—	—	—	—	—	1	

12. 各 種 學 校

小學校ニ類スルモノ私立二校、中學校ニ類スルモノ私立一校、實業學校ニ類スルモノ私立二十八校、其ノ他各種學校私立四十一校ニシテ前年ニ比シ其ノ他各種學校一校減シタリ

各學校共設備充分トハ云ヒ難キモ生徒數多ク又ハ増加ノ向ニアリテハ授業若ハ保健衛生上相當ノ施設ヲ講ジツ、アリ教員モ時

記 述

局ニ鑑ミ地方子女ニ夫々専門職業教育ヲ施スニ專念シ其ノ貢獻スル處蓋シ尠少ナラズ

13. 學校ニ於ケル體育運動及衛生

中等學校、小學校ニ於ケル學校醫ハ殆ンド充實ヲ見ル處ナルモ青年學校、各種學校、幼稚園ニハ未ダ之ガ普及ヲ見ザル向アルモ現下諸情勢ニ照シ年々之ガ設置ノ増加ヲ見ツ、アリ。且又學校看護婦ノ如キモ漸次増加ノ趨勢ヲ迎リツ、アリ殊ニ刻下重大視サレツ、アル國民體位ニ關シテハ將來ノ日本ヲ背負ツテ立ツベキ青少年學徒ノ體位向上ニアルヲ痛感シ凡ユル角度ヨリ多種多様ニ互ル身心鍛鍊實踐事項ノ實施ニ專ラ意ヲ注キ相當ノ効果ヲ收メツ、アリ

1. 學校醫

職員、生徒、兒童、幼兒ノ身體検査、口腔検査、健康相談、齒科豫防診療ヲ實施ス而シテ治療ヲ要スルモノハ夫々適當ナル措置ヲ講ジ治療ニ努メシム又必要ニ應ジ健康診斷ヲモナス其ノ他結核豫防、口腔衛生講話ヲナス

2. 學校看護婦

學校醫ノ指揮ニ依リ學校衛生諸般ニ互リ從事ス

3. 設備衛生

校地ノ選定、校舍ノ建築ニ留意スルハ勿論衛生室救護藥品ヲ備ヘ机、腰掛ハ兒童、生徒ノ身長ニ應ジ改善ス尙生徒兒童ノ學習姿勢ニモ特ニ意ヲ注ギ通風採光、疲勞等ニ萬全ヲ期ス

4. 體育運動

運動會、遠足、校外運動其ノ他各種運動競技殊ニ國民學校準備教育期間ナルヲ以テ體位ノ鍊成ニ重點ヲ置キ其ノ向上ニ努ム

5. 身體虛弱者並精神薄弱者ノ監督養護

虛弱者ニ對シテハ夏季海濱學校、林間學校ノ開設保養ニ努メル外肝油ノ服用ヲ獎勵ス、精神薄弱者ニハ家庭トノ連絡ヲ密ニシ遺憾ナキヲ期ス

14. 學校園、學校林及樹栽

學校園ハ校地ノ空地ヲ利用シ農業ノ實習ヲナスモノ多ク其ノ田所有校數二百六十四校段別二十七町六段、畑所有校數三百三十二校段別四十四町九段ナリ而シテ右ハ理科教材及蔬菜、果樹類ヲ植栽シテ教學上ノ參考ニ資シツ、アリ又學校林設置校數ハ百三十六校其ノ段別五百六十四町五段見積價額三十九萬三百七十七圓ニシテ各種記念又ハ基本財産ノ爲特設シタルモノナリ

15. 教員、保姆檢定及免許狀授與

教員、保姆ノ檢定ハ毎年施行ス但シ無試験檢定ハ臨時之ヲ施行ス本年度内檢定出願者中合格者ハ三百八十三名、保姆一名ナリ尙合格者及師範學校卒業者ニハ夫々免許狀ヲ授與セリ

16. 學事ニ關スル講習並旅行

	總 數	地 區				南 洋	朝鮮・滿洲 中華民國
		縣 內	縣 外	縣 內	縣 外		
市町村立小學校	人員 (實人員)	5,430	4,093	494	835	—	8
	日數 (延日數)	51,040	38,397	2,222	10,071	—	350
	總 額	97,003	64,685	7,236	22,978	—	2,104
	旅 費	929	51	223	605	—	50
	縣市町村教育會費其他	8,380	3,258	1,463	3,589	—	70
師範學校	人員 (實人員)	33	9	20	4	—	—
	日數 (延日數)	236	105	110	21	—	—
	旅 費	981	437	481	63	—	—
	縣 費	—	—	—	—	—	—
	市町村教育會費其他	—	—	—	—	—	—
公立中學校	人員 (實人員)	99	57	30	12	—	—
	日數 (延日數)	572	266	160	146	—	—
	總 額	3,602	1,172	1,638	792	—	—
	旅 費	3,473	1,157	1,544	772	—	—
	縣市町村教育會費其他	—	—	—	—	—	—
費 其	129	15	94	20	—	—	

記 述

	總 額	地 域				南 洋	朝鮮 中華	滿洲 民國
		縣 內	縣 外	縣 內	縣 外			
公立高等女學校	人員 (實人員)	222	152	34	35			1
	日數 (延日數)	931	427	146	336			22
	旅費	3,363	1,323	613	1,370			57
	縣市町教其	2,131	692	466	966			7
	村會費費他	337	75	63	361			—
公立實業學校	人員 (實人員)	234	137	69	26			2
	日數 (延日數)	1,248	522	293	398			35
	旅費	5,509	1,663	1,761	1,487			598
	縣市町教其	3,700	1,418	1,101	1,181			—
	村會費費他	746	27	458	163			98
公立青年學校	人員 (實人員)	2,581	2,238	183	158			2
	日數 (延日數)	11,783	9,701	606	1,279			197
	旅費	21,440	16,101	2,202	2,624			513
	縣市町教其	398	70	100	28			200
	村會費費他	1,546	631	497	418			—
青年學校 養成所	人員 (實人員)	16	10	6	—			—
	日數 (延日數)	77	53	24	—			—
公立盲校	人員 (實人員)	18	9	9	—			—
	日數 (延日數)	75	19	56	—			—
公立幼稚園	人員 (實人員)	59	39	15	5			—
	日數 (延日數)	158	91	42	25			—
	旅費	385	60	325	—			—
	縣市町教其	232	82	100	50			—
	村會費費他	111	87	24	—			—
		12	—	—	12			—

17. 教 科 用 圖 書

教科用圖書ハ國定ヲ使用ス但シ一部郷土教科書ノ使用ヲ見ル向アリ供給狀況ハ概シテ圓滑ナリ

青年學校、中等學校ニアリテハ各校ニ於テ夫々適當ナル教科書ヲ選定使用スルモ之ガ選定ニ當リテハ周到ナル注意ヲ拂ヒツ、アリ

18. 常 置 體 育 運 動 施 設

一般民衆ノ心身鍊磨、體位向上ニ資スル爲津市ニ石水會館庭球場、講武館、武德殿武道場、宇治山田市ニ宮川グラウンド、桑名市ニ桑名文武館(劍道場)、桑名文武館(弓道場)、員辨郡西藤原村ニ西藤原スキー場、鈴鹿郡井田川村ニ鈴鹿郡設運動場、同郡關町ニ大日本弓道會關支部、阿山郡上野町ニ上野弓道會、名賀郡名張町ニ平尾山グラウンド、名賀郡美濃波多村ニ名賀郡設運動場、南牟婁郡神川村ニ神上青年運動場等アリ

19. 圖 書 館

縣立一、市町村立五十三、私立四十三計九十七ニシテ前年ニ比シ私立四減少ス設備狀況ハ充分トハ云ヒ難ク改善ノ餘地アルモ

記 述

ノアリ圖書冊數ハ二十一萬九千三百七十八冊、閱覽人員ハ四十三萬六千七百七十四人ナリ

20. 常置教育的觀覽施設

宇治山田市ニ神都記念館アリ二十五場面ノ歴史館バノラマ式人形ヲ表示シ思想善導上相當効果ヲ收メツ、アリ松阪市ニ鈴屋遺跡保存會アリ本居宣長翁ノ遺物ヲ參觀ニ供シ思想ノ教化良導ニ効果ヲ收ム

度會郡二見町ニ私立二見水族館アリ魚類、動物標本等ヲ參觀ニ供シ教育上ニ資ス

度會郡濱鄉村ニ神宮徴古館、農業館アリ徴古館ハ神宮徹下御裝、神寶ヲ初メ神宮緣由アル古器文獻等ニ我が國史文物ノ沿革ヲ徴スベキ資料ヲ陳列シ農業館ハ農産、水産、牧畜、養蠶等我が國産業發達變遷並現狀ヲ概觀スベキ資料ヲ陳列シ社會教化ノ上ニ裨益スル處多大ナリ

阿山郡上野町伊賀文化産業城ハ郷土物産、先賢遺墨、遺品並伊賀出身ノ事變殉國將士ノ遺影、遺品等ヲ蒐集掲揚陳列シ郷土産業振興上又ハ教育上將又永ク武勳ヲ景仰追慕感謝ノ至念ヲ捧ゲシム等大ナル効果ヲ擧ゲツ、アリ

津市ニ國防會館アリ皇國精神ノ發揚強化ヲ圖リ國防思想ノ普及徹底ヲ期シ事變勃發以來ノ縣下殉國將士ノ遺影、遺品ヲ蒐集掲揚シテ永ク其ノ偉勳ヲ偲バシメ併セテ感謝ノ至念ト報國ノ念ヲ鞏固ニシ同時ニ武勳ノ戰利品並ニ我が國古來ノ武器、武具等參考品ヲモ陳列公開シテ一般ノ來觀ニ供シ銃後ノ任務遂行時局ノ重大性ヲ確認セシムル上ニ於テ一面我が皇國精神ノ作興顯現ニ裨益スル處多大ナリ

21. 青年團、少年團

管下青年團ノ設置ナキ市町村ナク之ガ維持ハ主トシテ市町村費ノ補助、團員ノ據出金及寄附金等ヲ以テ充テ精神修養、學術ノ練習、勤儉力行、風紀ノ改善、團體訓練等ヲ標識トシ之ガ實行方法トシテハ各種講演、講話會ノ開催、勤勞奉仕及時局ノ進展ニ伴レ統制アル團體訓練ノ強行等ヲ行フ少年團モ相當設置セラレ博愛精神ノ涵養實質剛健ノ氣風ヲ養成シ社會奉仕等ニ依リ善良ナル公民ノ養成ニ努ム

22. 成人教育

中等學校、各種團體ニ於テ講習、講演會及映畫講演會等ヲ開催シ相當教化ノ實ヲ擧ゲツ、アリ

23. 社會教育關係

市町村ニ社會教育委員會ヲ設置シ社會教育ノ振興ヲ圖リ又婦人會、主婦會ヲ設置シ家庭教育乃至ハ家庭生活ノ改善ヲ圖リツ、アリ縣ニ於テハ教化團體聯合會ヲ置キ強化團體ト連絡シ國民精神ノ作興並經濟生活ノ改善ニ努ム

24. 教育品展覽會

各學校ニ於テハ一年一回或ハ春秋二回一日乃至三日間生徒兒童又ハ教員ノ製作品、成績品等ヲ主トシテ其ノ他教育資料等ノ參考品ヲ陳列シ父兄其ノ他一般ニ公開シ教育ノ理解協力ニ努ム

25. 民衆娛樂並生活改善

縣ニ映畫教育協會アリ市町村其ノ他各種團體ノ希望ニ應ジ映畫ノ映寫又ハ映畫ヲ貸與シ民衆娛樂ニ供ス又市町村ニ婦人會、主婦會ヲ設ケ各種教化團體ト連絡シ家庭生活ノ改善ニ努ム

26. 教育會

三重縣教育會アリ各郡市教育會ヲ以テ組織ス事業トシテハ各種講習會ノ開催、機關紙「三重教育」ノ發行、教育功績者ノ表彰、通俗圖書閱覽所、圖書館、小學校兒童ノ夏期學習帳編纂、調製等其ノ主ナルモノナリ

27. 教育ニ關スル法人

文部大臣ノ主管ニ屬スル教育ニ關スル法人及其ノ目的ヲ掲ゲレバ次ノ如シ

財團法人	三重縣立富田中學校水谷獎學會	學資補助	財團法人	入徳幼稚園	幼稚園經營
"	三重縣河藝郡教育會	郡内教育ノ改善	"	北牟婁郡育英會	郡内教育ノ改善
"	久居講武館	武道教授、補習教育、幼稚園設立等	"	眞宗高田派教育會	高田專門學校、高田中學經營
"	諸戶家育英會	學資補助	"	桑名中學水谷育英會	學資補助
"	伊賀國民教育會	社會教育普及發達	社團法人	名賀農學校々友會	校員ノ親睦、會員相互ノ身心修養、校風發揚

28. 縣會及市町村會

縣會、市町村會ハ教育費ノ議決ニ當リテハ慎重審議シ財政トノ關係ヲ考慮按配シ原案ヲ殆ンド議決其ノ充實ヲ圖ルヲ常トシ教育ニ支障ナカラシム

29. 學校關係職員及學事視察

本縣ノ學事關係職員ハ教育課ニアリテハ教育課長(地方事務官)、地方視學官、學校衛生技師、體育運動主事各一名、縣視學八名、屬六名、縣書記六名、雇五名、事務囑託一名ニシテ社會教育課ニアリテハ課長ハ教育課長ノ兼務ヲ除キ青年教育官(地方

記 述

事務官)一名、社會教育主事二名、拓殖講座講師一名、屬三名、社會教育主事補六名、雇一名ニシテ各課共規定ノ監督指導ニ當リツ、アリ又市町村ニアリテハ學務擔任吏員ノ外學務委員ヲ設置シ學事ニ關スル視察研究ヲナシ教育行政ノ刷新改善ニ努メツ、アリ

30. 學 事 獎 勵

市町村及中學校、青年學校ニハ補助金ヲ交付シ學事獎勵ニ努ム又縣特別會計各種育英會ヨリ高等專門學校入學者ニ對シテハ學資ノ補給ヲナス總給與人員ハ一〇一人ナリ

◎ 學 事 經 濟

1. 公 學 費

昭和十五年度公學費支出總額ハ九百三十二萬九千九百七十七圓ニシテ内縣支出ニ係ルモノ六百十八萬二千三百五十二圓、市町村支出ニ係ルモノ三百十四萬六千七百四十五圓ニシテ前年ニ比シ總額ニ於テ七十八萬六千五百五十一圓ノ増額トナルレモ之ガ内譯ヲ示セバ縣支出ニ依ルモノ三百七十四萬四百八十九圓ノ増額、市町村支出ニ依ルモノ二百九十五萬四千三百三十八圓ノ減少ナリ右内譯ノ増減著シキハ小學校教員ノ俸給ガ昭和十五年度ヨリ縣費支出ニナリタルニ主トシテ基因スルモノナルモ然シ右小學校教員俸給ヲ除キタル費目ニ就キ檢討スルトキハ市町村費ト雖實質的ニハ何レモ増額ス即チ時局ノ重大性ニ鑑ミ諸物資ノ關係上新規事業ハ生徒兒童ノ收容上又ハ教授訓練上不得止校舍附屬建物ノ増改築竝ニ校地ノ擴張以外ニハ極力之ヲ避ケ國民學校準備教育及科學教育等ニ最モ重點ヲ置キタル諸施設ノ爲ニ支出額ガ増加セリ、公學ニ屬スル收入總額ハ三百四十七萬三千四百六十九圓ニシテ内縣收入ハ二百六十四萬三百六十一圓、市町村收入ハ八十三萬三千八百八圓ニシテ前年ニ比シ總額ニ於テ二十萬六千八百九十九圓、縣收入ニ於テ百七十六萬九千六十五圓ノ増加、市町村收入ニ於テハ百五十六萬二千六百六十六圓ノ減少ナリ右ハ主トシテ義務教育費及現役兵教員俸給費ノ國庫下渡金ガ縣經濟トナリタルニ因ルモノナリ

	昭和十五年度	昭和十四年度	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十一年度	
支 出 總 額	總額	9,329,097	8,542,946	8,162,172	8,485,176	8,395,681
	經常時	7,512,497	6,794,685	6,562,225	6,435,972	6,222,983
	臨時	1,816,600	1,748,261	1,599,947	2,049,204	2,172,698
縣 支 出	總額	6,182,352	2,441,863	2,355,320	2,379,629	2,324,864
	經常時	4,835,400	1,269,314	1,219,705	1,223,116	1,222,755
	臨時	1,346,952	1,172,549	1,135,615	1,156,513	1,102,109
市 支 出	總額	872,369	1,531,022	1,248,867	1,242,662	1,216,988
	經常時	799,492	1,176,057	1,118,584	1,094,978	894,687
	臨時	72,877	354,965	130,283	147,684	322,301
町 村 支 出	總額	2,274,376	4,570,061	4,557,985	4,862,885	4,853,829
	經常時	1,877,605	4,349,314	4,223,936	4,117,878	4,105,541
	臨時	396,771	220,747	334,049	745,007	748,288
現 住 一 戶 平 均	29,903	28,676	34,710	35,760	35,521	
現 住 一 人 平 均	5,923	5,773	7,012	7,152	7,090	
收 入 總 額	總額	3,473,469	3,266,770	3,114,709	3,066,698	2,989,544
	經常時	3,230,784	3,076,937	2,959,721	2,907,306	2,841,906
	臨時	242,685	189,833	154,988	159,391	147,638
縣 收 入	總額	2,640,361	871,296	812,694	764,142	724,072
	經常時	2,489,359	681,963	658,023	604,751	579,343
	臨時	151,002	189,333	154,671	159,391	144,729
市 收 入	總額	309,403	523,677	435,710	407,045	376,986
	經常時	298,712	523,677	435,393	407,045	376,986
	臨時	10,691	—	317	—	—
町 村 收 入	總額	523,705	1,871,597	1,866,305	1,895,511	1,888,486
	經常時	442,713	1,871,297	1,866,305	1,895,511	1,885,577
	臨時	80,992	300	—	—	2,909

2. 公 學 資 産

縣市町村公學資産土地總坪數百二十四萬四千四百九十三坪、建物總坪數三十萬九千三百八十八坪ニシテ内縣ニ於ケル土地坪數二十四萬九千七百十九坪同建物坪數五萬二千四百坪市町村ニ於ケル土地坪數九十九萬四千七百七十四坪同建物坪數二十五萬六千六百三十八坪ナリ之ヲ前年ニ比較スレバ土地總坪數ニ於テ七千三百三坪、建物坪數ニ於テ九千八百八十八坪ノ何レモ増加ヲ示セリ而シテ縣ニ於ケル土地坪數ハ増減ナク建物坪數ハ六百八十一坪ノ増加ナリ又市町村ニ於ケル土地坪數ハ七千三百三坪、建物坪數ハ八千五百七坪ノ増加ナリ

以學資産總額ハ三千九萬七千七百圓ニシテ内縣ニ係ルモノ六百六十六萬四千五百九十四圓、市町村ニ係ルモノ二千三百四十

記 述

三萬二千五百六圓ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ總額ニ於テ八十六萬五千二百八十五圓、縣ニ係ルモノ十五萬四千七百八十四圓、市町村ニ係ルモノ七十一萬五百一圓ノ何レモ増加ヲ示セリ右ハ主トシテ敷地ノ購入、校舍ノ増改築其ノ他設備ノ擴充ニ依ルモノナリ而シテ市、町村ノ内容ヲ比較檢討スルトキハ前年ニ比シ相當ノ變化ヲ見タルモノアリ之ハ市町村ノ合併ニ伴フ結果ニ依ルモノナリ

縣市町村基本財産價額ハ百七十二萬九千六百三十二圓ニシテ前年ニ比シ十五萬五千三百四圓ノ減少ヲ示セリ右ハ主トシテ市町村ニ於ケル學校ノ増改築、校地ノ擴張、各種基本財産ノ整理統合處分ニ依ルモノナリ

縣市町村積立金ハ七十六萬八千七百九十九圓ニシテ前年ニ比シ三萬六千八百九十七圓ノ減少ヲ示セルモ右ハ市町村ニ於ケル學校増改築、敷地購入等ノ新營費ニ充當セルニ依ル而シテ之等保管ニ關シテ何レモ適切ナル方法ヲ以テ管理シツ、アリ

3. 教 育 資 金

昭和十五年度支出額ハ普通教育獎勵金二千九百二十圓五十六錢、小學校教員疾病療治料一千六十四圓此ノ支給人員五人ナリ貸付金ノ本年度未現在高ハ十圓二十一錢ニシテ年度内返納金ハ一千四百四十四圓四十九錢ナリ

4. 兒 童 就 學 獎 勵 金

本資金ノ本年度未現在高ハ七萬七千八百八十八圓二十七錢ニシテ資金ヨリ生ズル收入四千五圓、國庫交付金一萬八千六百二十一(內五千五百九十二圓ハ學校給食國庫交付金)縣費補充費二千九十三圓合計二萬四千七百十九圓ノ內資金編入金七十六圓九十一錢學校給食委員會費三百十圓合計三百八十六圓九十一錢ヲ控除シ二萬四千三百三十二圓九錢ヲ交付セリ右交付額ノ內九千四百圓七十九圓八十三錢ハ學校給食市町村交付金一萬四千八百五十二圓二十六錢ハ就學獎勵金交付金ナリ而シテ之ガ支出狀況ハ次ノ如シ

支 出 費 目 別	道 府 縣					市 町 村					公 益 團 體				
	支 給 人 員		支 出 金 額			支 給 人 員		支 出 金 額			支 給 人 員		支 出 金 額		
	總 數	男	女	總 額	一 人 當 平 均 額	總 數	男	女	總 額	一 人 當 平 均 額	總 數	男	女	總 額	一 人 當 平 均 額
支 總 數	41	26	15	2,151	52.46	19,397	9,885	9,512	35,689	1.84	170	82	88	149	.88
教 科 書 支 給	—	—	—	—	—	4,907	2,512	2,395	5,651	1.15	55	28	27	40	.73
學 用 品 支 給	18	13	5	462	25.67	9,139	4,621	4,518	11,617	1.27	99	45	54	71	.72
被 服 支 給	15	8	7	722	48.13	1,228	643	585	4,979	4.05	—	—	—	—	—
食 料 支 給	8	5	3	967	120.88	3,339	1,674	1,665	11,994	3.59	—	—	—	—	—
生 活 費 支 給	—	—	—	—	—	17	9	8	142	8.35	—	—	—	—	—
其 他	—	—	—	—	—	767	426	341	1,306	1.70	16	9	7	38	2.38

受 給 總 額 金 高 別	受 給 實 人 員					受 給 金 額					
	總 數	男	女	總 額	一 人 當 平 均 額	總 數	男	女	總 額	一 人 當 平 均 額	
總 數	19,494	9,941	9,553	37,989	1.94	20 圓 未 滿	104	48	56	1,875	18.03
1 圓 未 滿	9,150	4,641	4,509	5,659	.62	25 圓 未 滿	18	6	2	164	20.50
5 圓 未 滿	8,947	4,551	4,396	17,624	1.97	35 圓 未 滿	18	13	5	612	34.00
10 圓 未 滿	847	455	392	5,647	6.67	40 圓 未 滿	33	21	12	1,184	35.88
15 圓 未 滿	379	201	178	4,257	11.23	100 圓 以 上	8	5	3	967	120.88

5. 男 女 青 年 團 體 事 業 獎 勵 金

昭和十五年度未現在高ハ四萬二千九百五十九圓ニシテ此ノ資金ヨリ生ズル收入二千二百圓縣費補充費九十五圓八十錢合計二千二百九十五圓八十錢ノ內資金編入金百圓ヲ控除シタル二千九百五十九圓八十錢ヲ以テ青年團體體育運動其ノ他青年團體事業獎勵施設並其ノ活動ニ資セリ

6. 市 町 村 立 小 學 校 教 員 加 俸 資 金

國庫配付金四萬九千七百七十七圓九十五錢特別會計編入金三十五圓五十六錢ヲ以テ小學校教員年功加俸十二萬五千四百三十一錢特別加俸一萬一千五百五十一圓二十八錢恩給法ニ依ル納金一千三百六十五圓九十一錢ヲ支出セリ尙之ヲ前年ニ比スレバ年功加俸三千七百七十八圓一錢特別加俸六百三十七圓十二錢ノ何レモ減少ナリ

7. 公 立 學 校 職 員 年 功 加 俸 資 金

國庫補助金二萬五千九百五十五圓四十六錢、縣費補充費七萬九千三百二十一圓十五錢合計十萬五千二百七十六圓六十一錢ヲ以テ年功加俸十萬五千二百七十六圓六十一錢ヲ支出セリ之ヲ前年ニ比スレバ七千七百八十一圓十八錢ノ増加ナリ

8. 教 育 學 藝 ニ 關 ス ル 資 金 ノ 類

前項以外ニ教育ニ關スル資金ノ類ヲ舉グレバ次ノ通ニシテ之等資金ヨリ生スル收入ハ之ヲ學資補給、學校衛生施設改善等ニ充テ所期ノ目的ヲ達成シツ、アリ

種 別	本 年 度 支 出	本 年 度 末 現 在 高			
		總 額	現 金	預 金	有 價 證 券
三 重 縣 獎 學 基 金	1,662	33,470		3,520	29,950
三 重 縣 恩 賜 獎 學 資 金	14,167	113,763	貸出金40,000	11,263	102,500
離宮御造營記念恩賜兒童保健衛生資金	8,862	82,555		305	82,250